

魅力ある農業経営を目指して

—松浦青年農業者会—

農業は松浦市の基幹産業です。中山間地域に広がる大地では、多種多様な農産物が生産されており、米や野菜、果実のほか、繁殖中心の肉用牛の生産も盛んです。

しかし、農業従事者の減少や高齢化が進み、農業従事者の確保は、農業の活性化に不可欠なものとなっています。

特集では、農業後継者として農業技術や農家経営の向上を図り、魅力ある農業経営を目指して活動をしている松浦青年農業者会を紹介します。



青年農業者会とは

松浦青年農業者会は、農業後継者として農業技術や農家経営の向上を目指し、仲間づくりを中心に、農業に従事する若者の親ぼくや情報交換を行うため、平成16年11月に発足しました。

現在のメンバーは7人。県北農業改良普及センターと連携し、共同活動による試験栽培の実施や農業団体等主催の各種イベントへの参加、県北地区や県、全国で開催される研究会に積極的に参加しています。

活動の取り組み

ここでは、現在取り組んでいる活動の中から、4つの活動を紹介します。

プロジェクト活動

プロジェクト活動とは、日常の生産活動や生活の中から興味や関心のあること、困ったことを課題として取り上げ、その問題を解決するための目標を定め、計画を策定し実践することです。仲間と一緒に農業改良や生活改善に関する知識と技術を生につける活動です。

昨年は小豆栽培を課題にプロジェクト活動を行いました。

農業者の高齢化、耕作放棄が進む中、高齢者が簡易に栽培できる農産物の導入が必要です。「低コスト」「低労力」と言われているものの、松浦地域で栽培事例の少ない小豆に着目し、新たな水田転作物としての可能性を検討するためのプロジェクトに取り組みました。

播種の適期の検討や除草、害虫防除を行い、収穫の後、課題の選定が適当であったか、計画どおりに実行できたか、実行の経過はどうだったかなどについて会員で検討、反省を行いました。

プロジェクトの結果については、県北地区青年農業者連絡協議会主催



播種のためほ場の準備を行う

の意見発表大会で発表し、同じ青年農業者の意見を聞きながら、今後のプロジェクト活動に生かしています。



共同で除草、防除を実施



プロジェクトで栽培した小豆を収穫

会長 守山

きよかず
清和さん
(志佐・庄野、25)



共同する姿勢と態度を養いたい

今回のプロジェクト活動を通して、みんな考えて、観察し、判断するなど問題解決へ協力して取り組む姿勢や態度が生まれ、知識や技術が習得できたと思います。

農業は、自然条件や肥料やりなどで安定した収益が上げられないこともありませんが、一番良い結果が得られる手法を考え、その土地や気象条件にあった管理方法で栽培することを頭において、今後もプロジェクト活動を続けていきたいと思っています。